

千枚田を守り抜いた 偉大な先人たちへの鎮魂の灯火

お田植え感謝の夕べ

～みんなで灯そう千枚田～

開催日時 平成29年6月3日(土) 午後7時から

主催 鞍掛山麓千枚田保存会

共催 連谷公民館始め各種団体と地域の皆さん

協力 愛知県ふるさと水と土指導員

本年は鞍掛山麓千枚田保存会設立20周年にあたり、保存会事業のすべてを設立20周年記念行事と位置付けて開催する所存です。耕作者・地域の皆さん、棚田ファン、リピーターの皆さん、むらの宝、市・県の顔・国民の財産までに築き上げた四谷の千枚田。

また、地域の要として棚田保全に頑張る耕作者、地域の皆さんとともにあわただしい田植えも終んだ農休みの一夕を呑み、喰い、語りあう機会を設けました。

沿道(作業道・景観道)に千五百本のロウソクを皆さんの真心で灯し、幽玄な世界を醸そうではありませんか。きっと、良いことがありますよ..

四谷の

千枚田だより



第165号



第三回奥三河パワートレイル

四月三十日、茶臼山を起点とした参加ランナー八百三十八人は湯谷温泉をゴールに七十kmの山岳コースを走破する国内有数な過酷なレースが展開された。
四谷の千枚田「ふれあい広場」は

第二関門エイドステーションに指定され、この関門を通過したランナーは来年の参加権が与えられる。

当日は保存会が母体となり地域住民を呼びかけ、一体となり、湧き水天日干しの棚田米「みねあきひ」のおにぎり一千個と害獣駆除の資源活用とした「シシ汁」を大はそり五釜用意し、ランナー、その家族、応援スタッフ全員に精一杯の「おもてなし」をした。

おにぎりもシシ汁も全て完食、特別メニュー千枚田ならではの「鳥長」の皮胆がチョウ人気であった。

ランナー八百三十八人(男性七百四十六人、女性九十二人)の内、四十八km地点の千枚田関門までのランナーは五百五十六人で後の完走者は四百一十一人(四十人)であった。

四月二十七日、(株)横濱ゴム新城工場は地元貢献活動の一環として大会に先立ち社員四十一名がふれあい広場から仏坂までの市道・県道のコースの清掃活動を実施していただきました。

保存会総会

五月六日、連日、田植え作業で疲労困憊のなか、鞍掛山麓千枚田保存会総会が連谷会館に於いて開催された。

会長は、冒頭、平成九年一月十二日、会員相互の親睦、棚田保全を目的に発足した保存会も今年、設立二十周年に当たる。棚田保全、地域貢献など、会員の誠心誠意で揺るぎない地位を築くことができ、感謝の至りである。と感謝の辞があった。

上程した議案は規約の一部改正第五条 保存会は、千枚田耕作者及び**び目的・事業に賛同する者で、**保存会に入会した(以下「会員」という。)をもって組織する。と改正。第三条に掲げる目的に賛同する新会員を幅広く募ることとなった。

その他の議事、議案はすべてキャンセル、無事、総会は散会した。

新役員 会長 小山舜二 副会長 高橋孝行 理事 高橋伸治 今泉雅男 小山孝夫 稲熊富平 原田英史 顧問 高橋庄一 会計 松下誠 会員 丸山一虎 梶村兼夫 金古浩一 夏目宏一 古田和男 今泉徹 田中幸夫 稲熊良隆 小山傳次郎 小山秀夫 村雲伸一 原田武典 原田勇 丸地光世 河西忍 今泉一憲 小山柳二の二十六名で構成されている。

クマガイソウ

四谷の大林「むくろぎ」の原田美さんの裏山にクマガイソウが今を盛りに群落状に咲き誇っている。原田さん夫婦は花を愛でに来る人たちのため観賞用遊歩道まで造ってしまった。クマガイソウの群落の中にエビネも咲き、ラン特有なコラボレーションが二十日ごろまで観られる。訪れると九十七歳のやえ子婆さんの講釈を聞くことも楽しみだ。そうそう、千枚田や仏坂周辺で仏法僧も鳴いとるだに・・



田植え

・五月七日、愛知東農協こども農学校に参加する六十名は実際の農作業を体験してもらい、その活動の中で「農業」と「食料」の関係性を肌で感じる野外型教育活動を行っている。この日は保存会高橋庄一(顧問)の指導で田植えを行った。
・五月十一日、豊橋調理製菓専門学校の田植えが行われた。



生徒たちは学校方針から「食」の原点である「コメ」の大切さを実感するために厳しい環境の千枚田で稲作体験を行っている。

冒頭に愛知県新城設楽農林水産事務所建設課の竹内課長さんと新城

市鳳来総合支所地域課松井課長さんからお言葉を受け、(舜)の指導で田植えが行われた。

鳳来寺小学校の代かき

五月十一日、地元鳳来寺小学校五年生は学校田の代かき作業を泥んこまみれになって行った。



今後の予定

五月十七日、鳳来寺小学校の田植え
五月二十日、新城高校農業クラブの田植え
五月二十五日、静岡遊歩会百二十名
六月十日、安城みどりネット

行 平成二十九年五月十五日

鞍掛山麓千枚田保存会

発 文 責 小山舜二